

～まちづくりの将来像～

住む人と訪れる人がふれあう
にぎわいとうるおいのあるまち

～まちづくりの基本目標～

- 1 にぎわいのあるまちづくり
- 2 回遊性のあるまちづくり
- 3 うるおいのあるまちづくり

中心市街地まちづくりは、平成25年3月に策定した「旧吉松家住宅周辺（仲町通り等）活性化基本計画」に示します左記の基本目標を達成するため、「くしままちづくり協議会」をはじめとする市民団体と連携しながら、「中心市街地の形成」「通過型観光客を中心市街地や市内観光地等へ回遊させるための拠点づく

り」など、平成32年度末を目指して串間市の活性化に向けた整備を進めています。



くしままちづくり協議会
喜多 祥一 会長

本年度を「まちづくり元年」として位置づけ、『住む人と訪れる人がふれあうにぎわいとうるおいのあるまち』というテーマを再確認し、『どこにもなかった楽しいまち』の創作を推進していきたいと思っています。
訪れる人が市内の一カ所にとどまることなく、都井岬や幸島を代表とする観光地と中心市街地が『人の流れる線』で結ばれるまちづくりを目指し、実現に向けて始動していきます。

串間市中心市街地まちづくり

「住む人と訪れる人がふれあうにぎわいとうるおいのあるまち」を目指して



問 / 東九州道・中心市街地対策課 ☎内線437

南海トラフ巨大地震に備えて JA串間市大東と 災害時応援協定を締結

5月22日、大規模災害時ににおける備蓄食糧を確保するため、本市とJA串間市大東（清水豊文組合長）は災害時応援協定を締結しました。

南海トラフ巨大地震が発生した際の串間市における1日の避難者数は約7500人と想定されています。その中で、多くの備蓄食糧の確保が最優先事項と

なっています。

JA串間市大東は、1日の甘しよの平均貯蔵量が約20トンにもなり、カロリー換算すると約1万4千人分の食糧に相当します。

大規模災害の発生によって物資が不足したとき、JA串間市大東は行政の要請を受け、物資を提供します。



5月22日に行われた調印式



大災害時の食糧として提供される甘しよ

問 / 危機管理課危機管理係 ☎内線344

各部門の受賞者

- 社会福祉功労 民生委員児童委員 功労表彰
佐藤利和さん 岩満泰子さん 井上藤雄さん 仁田盛人さん
- 社会福祉功労 地区民生委員児童委員協議会
都井地区民生委員児童委員協議会
- 社会福祉事業功労 高齢者クラブ関係功労者
野邊忠徳さん 日高コウさん 池田健一さん 井上章さん
- 社会福祉関係自助努力者 家庭介護功労者
泉輝秀さん 田代イトエさん
- その他社会福祉の向上に特に功労のあった者（サロン会の運営・活動）
本田幾男さん 安永イサオさん 日高キヌ子さん

4月26日、市総合保健福祉センターで串間市社会福祉功労者等表彰式が行われました。今回の表彰式では、長年にわたり社会福祉の増進に尽力された13名、1団体の皆さまへ、市長より表彰状と記念品が贈呈されました。

受賞者の皆さんおめでとうございます 13個人1団体 社会福祉功労者表彰



都井地区民生委員児童委員協議会のみなさん



個人表彰されたみなさん

問 / 福祉事務所社会福祉係 ☎72-1123